

製品名: ニューロトリミンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14625**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	42kDa

抗原情報

遺伝子名	NTM
別名	NTM; IGLON2; NT; Neurotrimin; hNT; IgLON family member 2
遺伝子 ID	50863.0
SwissProt ID	Q9P121
免疫原	抗血清はヒト NT 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 235-284

背景

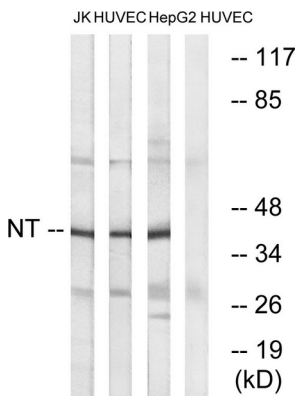
この遺伝子は、免疫グロブリン (Ig) ドメインを含むグリコシルホスファチジルイノシトール (GPI) アンカー型細胞接着分子である IgLON (LAMP、OBCAM、Ntm) ファミリーのメンバーをコードします。コードされるタンパク質は、同種親和性メカニズムを介し

て神経突起の伸展と接着を促進すると考えられます。この遺伝子は、11番染色体上の関連ファミリーメンバーであるオピオイド結合タンパク質 / 細胞接着分子様遺伝子 (OPCML) と密接に関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2009年1月]、機能: 神経細胞接着分子。類似性: 免疫グロブリンスーパーファミリーに属する。IgLONファミリー。類似性: 3つのIg様C2型 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。

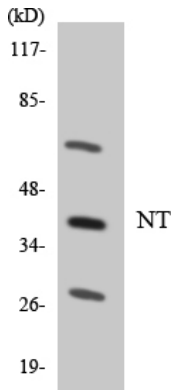
研究分野

細胞接着タンパク質、膜タンパク質、神経科学、神経プロセス、神経新生

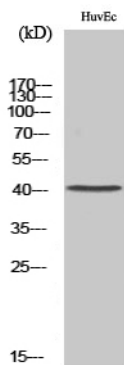
画像データ



NT抗体を用いたHUVEC、HepG2、Jurkat細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



NT抗体を使用したHepG2細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



ニューロトリンポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析